

推薦の進め方について

1. これまでの推薦方法

- 前回委員会の推薦では、全リスト102名→候補者リスト50名→委員24名
- 「治水・防災」、「利水・利用」、「環境」、「人文・経済・社会」の4分野で、概ねバランスがとれるよう委員を構成（推薦委員会による候補者リストもバランスを図りながら作成）
- 男女比、年代比については配慮することとしていたが、推薦、公募の具体の比率等についてはきめていなかったところ
- 各推薦委員からの推薦者数は自由に決めていなかったところ（担当分野以外の推薦についても自由）

2. 委員構成について

- (1) バランスのとれた委員会とするため、委員構成については、前回同様、分野を決めておき分野バランスを図る方針でいかがか

① 専門家委員会の分野構成

- ・ H16 台風被害や局地的豪雨の発生、また東日本大震災の発生をうけ、減災やリスクマネジメント等の危機管理意識が高まっていることを踏まえ、新たに「危機管理」を加え、「治水・防災」、「利水・利用」、「環境」、「危機管理」、「人文・経済・社会」の5分野で委員バランスを図ることはいかがか

② 地域委員会の分野構成

- ・ 専門家委員会の分野構成と同様、「治水・防災」、「利水・利用」、「環境」、「危機管理」、「人文・経済・社会」の5分野で委員バランスを図ることはいかがか
- ・ また、活動地域についても推薦、応募の際に明記していただき、ある程度、地域バランスも考慮することはいかがか

- (2) 委員構成について、男女比、年代比、推薦・公募の比は考慮に入れるか

3. 推薦委員の推薦について

- 各委員から概ね何名ぐらい推薦するか
- 担当分野以外も自由に推薦することにするか

4. 候補者リストについて

- 推薦委員会で作成する候補者リストについて、作成時点では本人了解を得ていないことから、委員数より多めの候補者をリストアップすることが必要。委員数から何人ぐらい多めの者を候補者リストにリストアップするか（絞った形でリストアップする場合、不足した場合の対応は、改めて推薦委員会で全リストからリストアップすることなどが考えられる）